

# みんな 平成 22 年度決算報告と町の財政状況 で 学ぼう わが町のお金の使い道



彦左衛門さん



えこたん

今年もわが町の台所事情をお知らせする時節となりました。平成 22 年度の 1 年間で町が使ったお金の中身をご覧いただき、今後の町政の動きを知っていただきたいと思います。

今年も財政事情に詳しい町のご意見番「彦左衛門」さん（文中では彦左さん）の登場です。質問者は、環境と都市交通のイメージキャラクターの「えこたん」、進行役は広報担当「T」が務めさせていただきます。

## ◆ 一般会計

T：それでは、22 年度の決算の特徴から教えてください。

彦左さん：ん、一般会計の決算は、21 年度と比べると歳入も歳出も減っておるわけじゃが、世界的な経済不況が回復せず、大幅な税収減となった 21 年度より、さらに 6 億円もの税収減となってしまったんじゃ。

えこたん：大幅に収入が減って、どうやってやりくりしたんですか？

彦左さん：それはな、臨時財政対策債という借金を 4 億 6 千万円し財源不足を補ったり、繰入金とってある目的のために貯金しておいたお金を取り崩したりしてやりくりしたのじゃ。

えこたん：じゃあ、なかなか大変だったんですね。

彦左さん：そうじゃよ。しかしやらなければならぬことは多く、計画に沿って事業は行われたのじゃ。

T：それでは 22 年度はどんな施設整備が行われたのですか？

彦左さん：それじゃあ、22 年度に取り組んだ大きな事業について話をします。

まず、一番大きな事業は何と云っても新駅設置および周辺整

備事業じゃな。名称も相見駅と決まり、平成 24 年春の開業に向けて工事が進んでおるぞ。

それと、21 年度から工事していた中央小学校体育館が完成したのじゃ。

次に土木費。道路新設改良事業では、長嶺大草 1 号線、永野菱池 1 号線などの道路整備工事を行ったのじゃ。

消防費では、高規格救急車を更新し、教育費では、荻谷小・深溝小の給食工レベーター棟改築を行ったのじゃ。

これらをひっくるめて普通建設事業と言ひ、総額にすると 22 億円、歳出予算全体の 17・8 割と高い割合となっているのじゃ。



▲工事が着々と進む相見駅

費目別のグラフを見てみるとそのへんがよ分かるのじゃ。

えこたん：費目別グラフを見てみると扶助費が増えていますね。

彦左さん：そうじゃな、扶助費は、各種福祉サービスや福祉手当の費用、中学校卒業までの子ども医療の無料化の医療費助成などの町民を援助するための費用じゃが、子ども手当が新設されたことにより大幅に伸びたんじゃ。

えこたん：年々増えているのが気がかりですね。

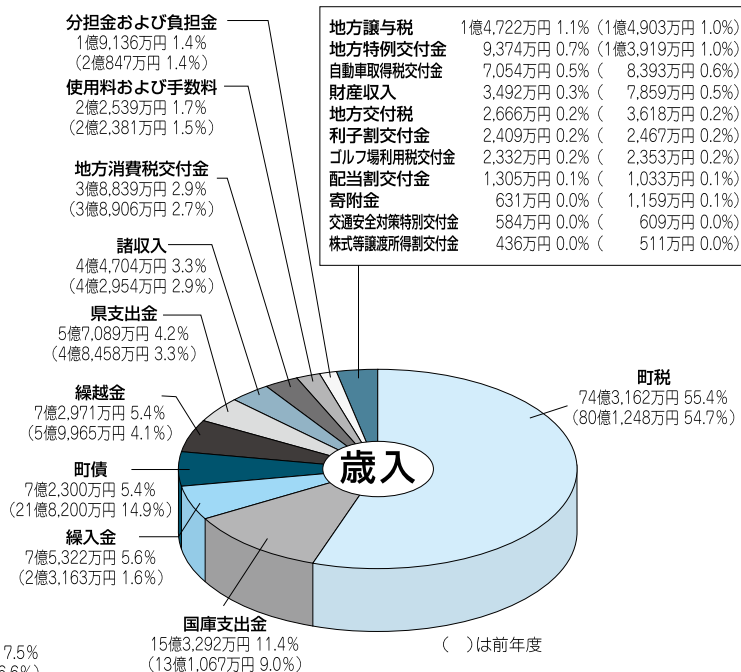
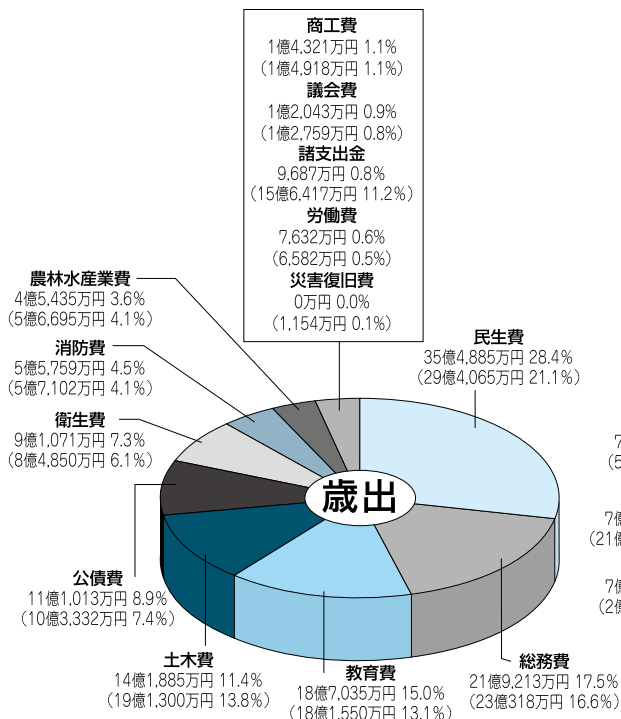
彦左さん：そのとおりじゃ。今後も、注意深く見守っていかねければならないのじゃ！

T：それでは、そのほかの主な費目もどんなものか教えてください。

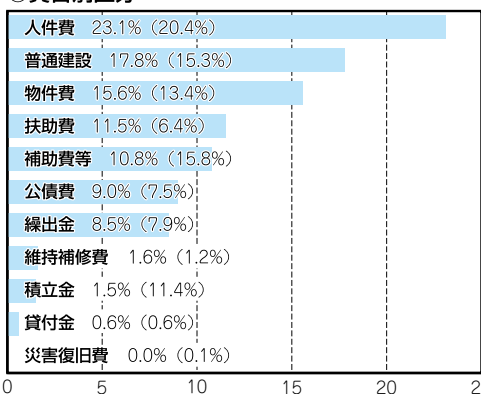
彦左さん：それじゃあ、物件費から説明しようかの。これは、役場など公共施設で働くパートさんの賃金をはじめ事務用品などの消耗品に使われたもので、一番大きいのはなんととっても委託料じゃ。公共施設を維持していくのに必要な施設の管理や保守点検を専門の業者に委託した経費で、町民会館・図書館・町民プール・高齢者生きがいセンター・高齢者ふれあいプラザ・道の駅の 6 つの施設は指定管理者制度によって管理運営を委託しているのじゃ。22 年度は特に子宮頸がんや小児用肺炎球菌などのワクチン接種や日本脳炎予防接

**歳出** 124 億 9,979 万円  
(前年度：139 億 1,042 万円)

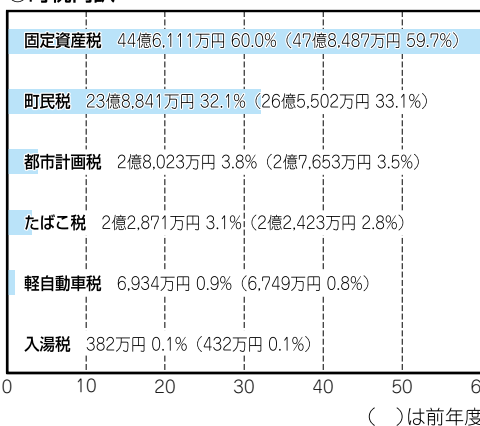
**歳入** 134 億 4,359 万円  
(前年度：146 億 4,013 万円)



○費目別区分



○町税内訳



種の増加も顕著だったのじゃ。  
えこたん…物件費が増加したのは町民の健康を守るための経費が主なものなんですね。  
彦左さん…そのとおりじゃ。次に公債費は、借金の返済に充てられたものじゃ。22年度も不況の影響で、7億2千万円借りたんじゃが、9億6千万円返済し借金残高が2億4千万円ほど減ったのじゃ！ほだけど借金残高はまんた89億2千万円もあるのじゃ。  
えこたん…え！そんなにあるんですか？  
彦左さん…そうじゃ。でも、今後も返済額以下の借り入れのルールを必ず守り、借金を減らしていくんじゃ！  
次に線越金は…  
えこたん…それはまかせてね！幸田町には特別会計や企業会計というのがあって、それを運営するために一般会計から支出するお金のことを線越金って言っんですよね。  
彦左さん…そのとおりじゃ。  
これまでの話は、一般会計と違ってな、税金などを財源として福祉や教育、消防など町民に広く行われる行政活動における歳入・歳出の会計のことじゃ。幸田町にはそのほかに一般会計とは別に区分されておる8つの特別会計と1つの企業会計が設けられておるのじゃ。

## ◆特別会計・企業会計

T...では、22年度の幸田町の特別会計と企業会計でこのようにお金が使われたのか教えてください。  
**彦左さん**...よっしゃ。一般会計は主に税金を財源として運営されておるのじゃが、特別会計は、ある特定の事業を行うときに、特定の歳入・歳出を一般会計と区分して経理するための会計なのじゃ。

ここからは22年度の特別会計と企業会計について、一つずつ説明していこうかの。

まずは、**土地取得特別会計**じゃ。この会計は、公用・公共用に使われる土地や公共の利益のために事前に土地を購入するための会計なのじゃ。

22年度は、社会教育施設用地の先行取得と、公債費（借金）の返済が主なものじゃった。22年度で借金は完済したぞ。

**国民健康保険特別会計**は、ほかの健康保険などの適用を受けない町民が病気やケガをした時に本人の負担以外の医療費を医療機関などに支払ったり、出産や死亡した時に経費の一部を加入者みんなで支給したりする会計なのじゃ。22年度末の加入状況は、4,613世帯8,820人の皆さんがこの保険に加入してあるわけじゃ。

**老人保健特別会計**は、後期高齢者医療制度の発足に伴って今までの制度は廃止となり、過年度分の精算のみとなり、22年度末でこの特別会計は終了したのじゃ。

**後期高齢者医療特別会計**は、75歳以上の高齢者に係る医療保険に関する会計じゃ。

後期高齢者医療に関しては、医療費の給付などは広域連合で行い、この特別会計では、保険料の徴収と健康診断などの事業を実施しておるのじゃ。

**介護保険特別会計**は、高齢になつて、介護が必要となつた場合に受ける介護サービスの本人負担以外の経費を、加入者と税金で負担し介護施設などに支払っておるのじゃ。22年度末では、617人が要介護、259人が要支援の認定を受けて各種サービスを受けたのじゃ。

次は、**幸田駅前土地区画整理事業特別会計**じゃ。

この会計は、幸田駅前地区の区画整理事業を円滑に施行するための会計じゃ。

22年度は、建物移転補償などの事業が主なものじゃった。

**農業集落排水事業特別会計**は、幸田町は、全町下水道化を推進しており、この会計は農村集落の環境整備の一つとして進められておるのじゃ。町内13地区すべてが供用開始されており、それらの施設の維持管

理事業を行つておるのじゃ。

**下水道事業特別会計**は、農村集落以外の市街地の下水道整備などを運営しておる。

幸田町では、既存の市街化区域の整備がおおむね完了し、周辺集落区域と新市街化区域の整備をしたのじゃ。

22年度末で農業集落排水と下水道などの汚水処理人口は、36,910人となり、普及率は99.7%となつたわけじゃ。

最後は、**水道事業会計**じゃ。この会計は企業会計と言つてな、幸田町の水道事業の運営がされておる会計なのじゃ。

幸田町の水道普及率は22年度末99.6%で、水源は県企業庁から水を買つて各家庭に配水しておるのじゃ。22年度の総配水量は約44.2万立方分、1日に永野水道山タンク2.4杯分、不況の影響で21年度は落ち込んだんじゃが、22年度は若干回復して3万立方分の増加となつたのじゃ。

どうじゃな、この厳しい状況の中、限られた財源を生かして、幸田町では実にさまざま事業が進められておるのじゃ。分かってもらえたかのう。

**えこたん**...んーいっぱいあつて頭がくらくらしてきたけど、なんとなく分かりました。円高や世界的な不況で、町の財政もやりくりが大変に

### ■決算状況

会計名		歳入 (a) (伸び率)	歳出 (b) (伸び率)	差額 (a) - (b)	
一般会計		134 億 4,359 万円 ( 8.2%減)	124 億 9,979 万円 (10.1%減)	9 億 4,380 万円	
特別会計	土地取得特別会計	2 億 3,948 万円 ( 8.0%減)	2 億 3,293 万円 (46.6%減)	655 万円	
	国民健康保険特別会計	28 億 5,114 万円 ( 6.8%増)	28 億 87 万円 ( 6.7%増)	5,027 万円	
	老人保健特別会計	199 万円 (73.0%減)	199 万円 (63.0%減)	0 万円	
	後期高齢者医療特別会計	2 億 3,850 万円 ( 1.9%増)	2 億 3,791 万円 ( 2.1%増)	59 万円	
	介護保険特別会計	12 億 3,084 万円 ( 0.1%増)	12 億 583 万円 ( 0.1%減)	2,501 万円	
	幸田駅前土地区画整理事業特別会計	4 億 8,126 万円 (26.5%増)	4 億 6,753 万円 (30.0%増)	1,373 万円	
	農業集落排水事業特別会計	3 億 9,966 万円 ( 9.5%減)	3 億 9,183 万円 ( 9.7%減)	783 万円	
	下水道事業特別会計	6 億 5,030 万円 (26.1%減)	6 億 3,944 万円 (26.5%減)	1,086 万円	
	企業会計 (税抜き)	水道事業会計	収益の収支	6 億 2,296 万円 ( 0.7%減)	6 億 60 万円 ( 0.7%増)
		資本的収支	1 億 6,105 万円 ( 1.2%減)	5 億 1,152 万円 (27.8%増)	▲3 億 5,047 万円
総合計		203 億 2,077 万円 ( 6.5%減)	195 億 9,024 万円 ( 7.0%減)	7 億 3,053 万円	

※歳入には翌年度繰越明許費（事業財源分）一般会計5,711万円、駅前特会515万円、駅前特会事故繰越し440万円を含む



## 指標で見る財政情報

### 経常収支比率

経常的・義務的経費に充てる割合  
65～75 歳…適正  
75 歳以上…要注意

22 年度…83.4 歳  
21 年度…71.6 歳  
20 年度…75.0 歳



### 公債費比率

借金の一般財源に占める割合  
10 歳以下…望ましい

22 年度…10.9 歳  
21 年度…10.5 歳  
20 年度…11.3 歳



### 財政力指数

財政上の力を示す指数  
指数が 1 以上の団体は  
財政力の強い団体といえる

22 年度…1.15  
21 年度…1.47  
20 年度…1.51



平成 22 年度に使われたお金を  
町民一人当たり換算すると…

# 32万9,410円

(前年度 37 万 1,618 円)

124 億 9,979 万円 ÷ 37,946 人  
(一般会計) (H23.3.31)



## ■町民一人当たりを目的別に見てみると…

( ) 前年度

1	民 生 費	9 万 3,524 円 (7 万 8,560 円)
2	総 務 費	5 万 7,770 円 (6 万 1,530 円)
3	教 育 費	4 万 9,290 円 (4 万 8,501 円)
4	土 木 費	3 万 7,391 円 (5 万 1,106 円)
5	公 債 費	2 万 9,255 円 (2 万 7,605 円)
6	衛 生 費	2 万 4,000 円 (2 万 2,668 円)
7	消 防 費	1 万 4,694 円 (1 万 5,255 円)
8	農 林 水 産 業 費	1 万 1,974 円 (1 万 5,146 円)
9	商 工 費	3,774 円 ( 3,985 円)
10	議 会 費	3,174 円 ( 3,409 円)
11	諸 支 出 金	2,553 円 (4 万 1,787 円)
12	労 働 費	2,011 円 ( 1,758 円)
13	災 害 復 旧 費	0 円 ( 308 円)

## 決算審査報告

幸田町監査委員

羽根 潤 保博  
夏目 一成

なってきたるんですね。これからはもっとお金の使われ方に関心を持っていきたいと思えます。T: そうですね。町の財政状況も一人一人が関心を持っていかねばいけませんね。

決算審査に付された各会計の歳入歳出決算書などは、いずれも関係法令などに準拠して作成されており、その計数は正確で、予算の執行はおおむね適正であると認められた。

### ◎一般会計・特別会計

一般会計と各特別会計の決算総額は、前年度と比較し、歳入・歳出のおの減少となった。歳入決算額から歳出決算額を差し引いた形式収支をはじめ、実質収支、単年度収支は黒字であった。財政健全化法で定める健全化判断比率については、各指標はいずれも基準値を下回っており、本町財政運営は健全であると判断できるが、今後は将来負担比率の悪化が危惧される。

### ◎水道事業会計

水道事業会計は、年間総配水量および年間総有収水量ともにそれぞれ増加しているものの、総収益が前年比で減少し、総費用は増加したため、最終純利益は減少となった。引き続き安定かつ良質な水の供給に向けた取り組みが必要であるとともに、大口受水者の受水需要回復動向にも注視する必要がある。

### ◎総評

平成22年度決算では、個人町民税や固定資産税の大幅な落ち込みで、減収を余儀なくされ、財政運営上のやりくりが緊張を極めた決算であったと思われる。東日本大震災や急激な円高の影響など、今後も予断を許さない社会経済情勢下であり、本町の財政運営は、より厳しい対応を強いられることが予測される。限られた財源や資源を最大限有効に活用し、安定した行政運営、住民サービスの上に一層努められたい。

(平成22年度決算審査意見から)

彦左さん…そのとおりじゃ。それを住民にわかりやすくお知らせするための、財政健全化の指標が公表されておるから、そちらも見てみるかの。

## ◆平成22年度決算に基づく健全化判断比率の公表

彦左さん…まず、財政健全化法について説明するかの。これは、平成18年6月の夕張ショックを発端に新しい法律ができ、平成19年度の決算から毎年議会や住民に対して健全化判断比率などを公表することが義務付けられたのじゃ。

えこたん…健全化判断比率で何が分かるんですか？

彦左さん…そうじゃな、これまでの財政指標というのは、一般会計、土地取得特別会計と幸田駅前土地区画整理事業特別会計の3会計のみの決算額で計算する普通会計ベースの指標じゃったんじや。そのためほかの特別会計や第3セクター、公社といった外部団体でいくら赤字があっても指標上は黒字決算になっており、本当の財政状況がわからなかったんじやが、新しい法律ができて、それらをすべて含めた連結決算により指標を公表することになったのじゃ。

えこたん…じゃあ、数値が悪いとどうなるんですか？

彦左さん…基準を一つでも超えれば、健全化計画を作成しなければならなくなつたんじや。

T…それでは、各指標について教えてください。

彦左さん…それじゃあ、ちょっと難しいが財政健全化判断指標を一つずつ説明していこうかの。

まずは、**実質赤字比率**じゃ。これは、福祉、教育、まちづくりなどの普通会計の赤字額を町税などの財源と比較して財政運営の深刻度を示しておるのじゃ。幸田町は黒字じゃから数値は計上されなかつたんじや。

次に、**連結実質赤字比率**じゃ。これは、決算の報告をしている一般会計と8つの特別会計、それと水道事業会計の連結決算の指標じゃ。すべての会計の赤字と黒字を足して、全体の資金不足を把握するため、町税などの財源と比較して財政運営の深刻度を示しておるのじゃ。これも幸田町は黒字じゃから数値は計上されなかつたんじや。

次に、**実質公債費比率**じゃ。これは、借入金の返済額などの大きさを指標化して、資金繰りの危険度を示しておるのじゃ。幸田町は3年平均10・9%で基準値を下回っておるのじゃ。

えこたん…でも、あんまりいい数値じゃないですよな？

彦左さん…そうじゃな。しかし、

21年度数値は11・4%だったから0・5%改善されており、危険なレベルではないのじゃ。

次に、**将来負担比率**じゃ。これは、特別会計や一部事務組合、幸田町にはないが第3セクターといった外部団体まで含めた借入金や将来支払っていく可能性のある負担の現時点での残高の程度を指標化して、将来の財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示しているのじゃ。22年度は、21年度と同様に将来負担より貯金などの方が多くなったため数値は計上されなかつたのじゃ。

えこたん…それじゃあ、安心ですね。

彦左さん…あくまで指標だから安心とはいえないが、今後不況が続くようだと数値が悪化してくるかもしれないので注意が必要じゃな。

最後に、**資金不足比率**じゃ。これは農業集落排水事業、下水道事業、水道事業の3つの公営企業の資金不足を、それぞれの料金収入の規模と比較して指標化し、経営状況の深刻化を示したもののじゃ。幸田町の公営企業はすべて黒字じゃから数値は計上されなかつたんじや。

えこたん…不況が続いて心配して

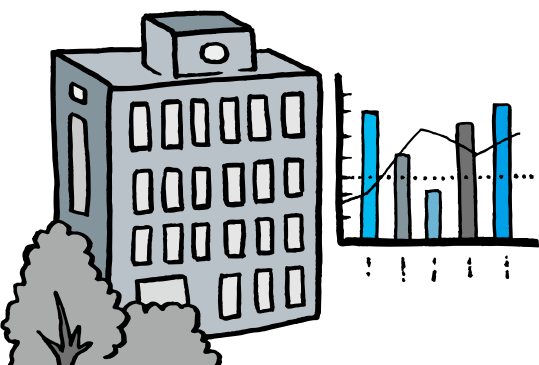
たけど、すべての指標が基準をクリアしていて良かったわ。これからはもしっかりチェックしなくっちゃね。

彦左さん…その通りじゃ。大変な経済危機を迎えた今こそ、住民も議会もみんなで幸田町の財政状況をチェックすることが大事なじゃぞ。

T…ここではほんの少ししかお伝えできませんが、詳しく知りたい人は、幸田町のホームページ「財政」をご覧くださいね、役場へ来て聞いてくださいな。

問合せ 財政課財政G

(内線3333)



## 1 財政健全化判断比率

下表のとおり、いずれの指標についても早期健全化基準を下回っています。

( ) は黒字比率

	健全化判断比率	早期健全化基準
実質赤字比率	— ( ▲ 10.9%)	13.69%
連結実質赤字比率	— ( ▲ 29.6%)	18.69%
実質公債費比率	10.9%	25.00%
将来負担比率	— ( ▲ 40.4%)	350.00%

※早期健全化基準

財政健全化判断比率のいずれかが早期健全化基準以上の場合、財政状況はイエローカードである「早期健全化段階」となり、財政健全化計画を定めなければならない。

○財政健全化判断比率の近隣市町状況

市町村名	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
幸田町	—	—	10.9%	—
岡崎市	—	—	0.0%	—
西尾市	—	—	7.3%	59.2%
蒲郡市	—	—	2.8%	—
全国平均	8 団体 (赤字団体数)	7 団体 (赤字団体数)	10.5%	79.7%

※全国の自治体の状況については、総務省のホームページ ([http://www.soumu.go.jp/menu/\\_news/s-news/01zaisei07\\_01000021.html](http://www.soumu.go.jp/menu/_news/s-news/01zaisei07_01000021.html)) をご覧ください。

## 2 公営企業の資金不足比率

下表のとおり、資金不足を生じた公営企業はありません。

( ) は黒字比率

	資金不足比率	経営健全化基準
農業集落排水事業特別会計	— ( ▲ 8.7%)	20.0%
下水道事業特別会計	— ( ▲ 6.0%)	20.0%
水道事業会計	— ( ▲ 235.3%)	20.0%

※経営健全化基準

公営企業ごとの資金不足額の事業の規模に対する比率であり、経営健全化基準 (20%) 以上となった場合には、経営健全化計画を定めなければならない。

(注) 健全化判断の指標は、数値が高いほど健全性が低く、逆に数値が低いほど健全性が高いと判断される指標で、▲は赤字や資金不足がなく、より健全であることを示しています。